

## 総合英語 A III

科目責任者 矢澤 卓也

学年・学期 1 学年・3 学期

### I. 前文

英語で情報収集を行い、適切な英語表現を行うことは、医師にとって重要なスキルの一つである。本講義では、学期ごとに異なるテーマで英語を総合的に学び、英語の論理展開やプレゼンテーションスキルなどを修得する。

### II. 担当教員

William Hassett

Chris Smith

Peter Mbiru

### III. 一般学習目標

本講義では、学期ごとに異なる3つのテーマで学習を行う。

- ・ Developing Communicative English Skills では、英語で意思疎通を行うための会話表現や英語圏の文化について学習する。
- ・ Presentations-Video and written では、プレゼンテーションを行う時の英語表現やマナーについて学習する。
- ・ Assessment 学期中に提示されたテーマについて、学生の理解度および英語によるコミュニケーション能力を評価する。

### IV. 学修の到達目標

- 1) 言語的および非言語的コミュニケーション能力を身に付ける。
- 2) 英語で積極的にコミュニケーションを行う自信と、主体的に会話に参加する力を身に付ける。
- 3) 科目としての英語とコミュニケーションの手段としての英語の違いを理解する。

### V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	10	16	金	2	Video Task 1	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
2		16	金	3	Video Task 1	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
3		23	金	2	Writing Task 1	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
4		23	金	3	Writing Task 1	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
5		30	金	2	Writing Task 2	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
6	10	30	金	3	Writing Task 2	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
7	11	6	金	2	Video Task 2	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
8		6	金	3	Video Task 2	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
9		13	金	2	Review	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
10		13	金	3	Review	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
11		20	金	2	Final Task: Review Video	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
12		20	金	3	Final Task: Review Video	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
13		27	金	2	Assessment	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6
14		27	金	3	Feedback, Personal development reflection and semester review survey.	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	2・3・6

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

- 40% - Class tasks
- 20% - ECL practice
- 40% - Assessment

VII. 教科書・参考図書・AV資料

各担当教員に確認すること。

VIII. 質問への対応方法

基本的には随時受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	◎
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	○
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題や試験について、より詳しいフィードバックやアドバイスを希望する学生は、ECLにて担当教員との「Progress Talk（個別相談）」を予約することができます。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

- ・ Output and practice are required throughout this course.
- ・ Students will be required to participate in activities posted on the ECL website and the ECL forum.
- ・ Students will be encouraged to practice their skills between lessons by doing some simple tasks.
- ・ Kahoot and Quizlet will also be utilized in order to practice review lesson content and reinforce vocabulary and key points.

XII. コアカリ記号・番号

SO-05-02-01 国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。

SO-06-01-03 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響（コミュニケーションの在り方等）を理解している。